

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009年11月22日現在

概況 ワシントン州東部の11月22日に終る1週間は、気温は平年を多少上回り降雨と降雪を伴う気象であった。SE地区の小麦地帯には降雪があり、所により2インチの積雪となった。雪は直ぐ溶け土壤水分を改善した。EC地区の最高気温は54~56度F、最低気温は26~28度Fであった。Ritzville観測所では平均気温は平年を4度F上回った。SE地区の平均気温も平年を3~9度F上回った。1週間の降水量はSE地区では0.38インチ、SE地区では0.25~0.49インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は2.9日(前週:3.8日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壤水分は平年より良い状態となった。2010年産冬小麦の播種は、全州の95%(昨年同期:84%、5年平均:94%)にて出芽した。Lincoln郡の冬小麦は分けつ(tilling)をしており、例年より良い状態であった。SE地区の降雨は冬小麦にとり有効であった。Whitman郡では降雪があった。雪は溶け小麦圃場の良好な水分となった。2010年産小麦の作柄は良好な水分と平年より高目の気温により前週より大幅に改善した。

土壤水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	6	74	20
	5-Yr Ave.	4	11	58	24
Subsoil	This week	5	19	74	2
	5-Yr Ave.	12	30	54	4
Irrigation	This week	0	0	96	4
	5-Yr Ave.	2	5	92	1

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	95	91	84	94

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	3	25	60	12
Last week	3	6	43	42	6

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

2010年産小麦の作柄及び気象概況報告は、当該報告の後には2010年4月まで月刊報告となります。12月の概況報告の時期は、2010年1月初めの予定です。